がんばろう
末崎！
津波なんかに
負けない！

館報まっさき

第３３５号
令和４年１１月２１日
大船渡市立
末崎地区公民館
電話（F 兼）29-2955

社会保障制度と負担増

年金や介護、医療などの社会保障制度で負担の引き上げを検討する国の議論が加速している。その中心となっているのは、高齢者の負担の見直しである。それは、今後、社会保障の財政が急激に厳しくなることが予想されるからである。

令和7年には、昭和22年から24年の第一次ベビーブームに生まれた「団塊の世代」（約800万人）が全員75歳以上になり、後期高齢者（75歳以上）人口は、約2,180万人にも達する。4～5人に1人が後期高齢者になり、日本は超高齢化社会に突入すると考えられている。

一方、生まれた子供の数・出生数は、昨年81万人余りで、従来の予測（平成29年に実施した推計では86万9千人）を大きく下回った。これによって将来、社会保障を支える現役世代（労働人口）が想定以上に減り続ける可能性が出てきていることである。

以上のような状況から、国は制度を維持していくため、高齢者の負担を可能な範囲で増やせないか、検討しているのである。

1．年金

国民年金の保険料の納付期間を延長するかどうかが検討されている。原則は、20歳から60歳までの40年間となっているが、これを65歳になるまで5年延長するかどうかが焦点である。

2．介護

介護サービスを利用した時の負担割合について議論されている。介護の費用負担は原則1割であるが、一定の所得がある人は2割、現役並みの人は3割となっている。この2割と3割負担の人を拡大するかどうかである。

3．医療

10月から病院の窓口で支払う医療費の負担割合は、75歳以上の一部の人で、従来の1割から2割に引き上げられた。自営業者や非正規労働者などが加入する国民健康保険。その保険料の上限額を年間で2万円引き上げる方向で検討が進められている。

（参考資料ＮＨＫ時論公論等）

獅子舞・権現様・虎舞について

獅子を崇める思想は、メソポタミアやエジプトのスフィンクスに始まり、これがシルクロードを通って中国では百戯・舞楽・散楽等と変化し、日本に入って伎楽・神楽・獅子舞・権現舞・虎舞になったと考えています。

6　舞楽の獅子舞は現在でも天台寺にある

獅子舞・権現舞・虎舞の起源は、前記の伎楽・舞楽・散楽のどれなのかを特定することは困難です。特に民間社会一般に普及する頃には、これらが融合して伝わった可能性も高いと思われます。

現在残っている郷土芸能の中でも、伎楽・舞楽・散楽の様式が現在まで変わらずに伝わっているものもありますが、元の様式がそっくりそのまま伝わるのでなく、途中で改良したり、間違って伝わったり、他の様式と融合したり、あるいは意識的に元の様式を変更したり等、一つの様式から伝わったものが、数が増えるにしたがって様変わりしていったものと思われます。

現在は伎楽・散楽の名で演じられている獅子舞は少ないのではないかと思われますが、舞楽として現在でも残っているものもあります。

私が最近見る機会があったのは、瀬戸内寂聴さんの講話で有名な、岩手県浄法寺町の天台寺の法会で演じられていました。

舞楽以外の獅子舞は、神楽に引き継がれ、全国各地で演じられています。（紀））

現在でも天台寺に伝わっている舞楽獅子舞

★ボッチャ練習のご案内

末崎地区公民館主催によるボッチャの練習を左記の通り行いますので、皆さんのご参加をお待ちしております。

練習日　12月2日から毎週金曜日
時間　午前10時～12時
場所　ふるさとセンター体育室
参加資格　末崎町民
参加料　無料

★ラージボール卓球教室のご案内

あなたも卓球（ラージボール）しませんか
初心者が手軽に楽しめるスポーツです。
1年通して、毎週火曜日午前10～12時まで行っております。
参加料　無料
場所　ふるさとセンター体育室
参加資格　末崎町民
主催　末崎地区公民館（29－2955）
共催　末崎体育協会
世話人　田畑基雄氏（29－2323）
その他　参加したい方は予約等必要ありませんので練習日に運動靴を持って来館して下さい。

★門松づくり

日時　12月18日（日）10時受付　作業タイム10時15分～12時
場所　ふるさとセンター
主催　末崎地区公民館
管　どこ竹@武蔵野三鷹末崎グループ代表　村上正吉
申込先　末崎地区公民館（29－2955）
申込期限　12月10日（土）
参加料　材料代として1個500円

※従来はミニ門松づくりでしたが、今年度は竹の高さ約40cm位、竹の一本の太さ5cm位の大きな門松となります。

★末崎地区生きがいセミナー「長寿大学」修了

大船渡市立中央公民館（飯田秀館長）は本年度も「生きがいセミナー」を市内11地区で地区公民館、老人クラブの協力のもと開講。

末崎地区では、6月22日に第1回が開催され第4回の11月10日で全4回講座が終了致しました。参加延べ人数は103名で、その中で16名の方々が全講座に出席し皆勤賞が贈られました。大変ご苦労様でした。

★ふれあいラージボール卓球大会結果

末崎地区助け合い協議会主催によるラージボール卓球大会が11月15日（火）ふるさとセンター体育室で行われました。

この大会には男女24名が参加し男女混合ダブルスにより、予選リーグ、決勝トーナメント方式で戦いました。

試合結果は左記の通りです。

優勝　梅澤敏行　及川タキ
準優勝　熊谷政芳　藤畑富子
第三位　小松三男　細川惠子

★男の料理教室

末崎地区助け合い協議会は11月7日（月）ふるさとセンターにおいて、高齢男性が一人になっても自ら食事の準備ができるようにと、「男の料理教室」を開きました。

当日は、末崎食生活改善推進員の方々5名の講師により男性5名が参加致しました。

普段は台所に立つ機会がありない男性陣ですが、この日ばかりは、真剣に「レシピ」を見ながら料理づくりに挑戦しておりました。奥様方の苦労がわかった1日でもあったようです。